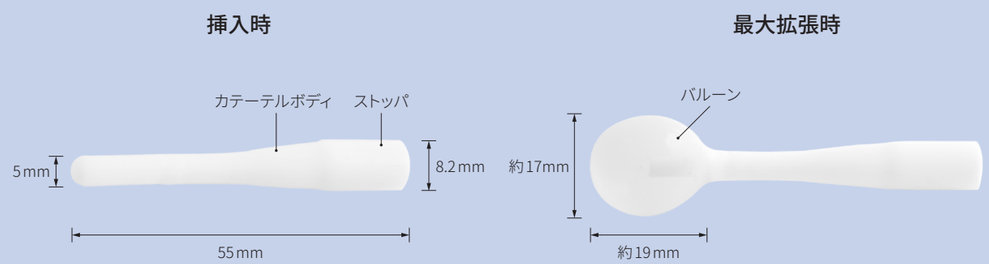
Word バルトリン腺カテーテルの各部名称

〈実寸大〉



※バルーンの最大拡張量は3mLです

セット構成品

Word バルトリン腺カテーテル

一般的名称：バルトリン腺用カテーテル
承認番号：30800BZX00154000
製造販売業者：ウィメンズヘルス・ジャパン株式会社

フェザー セーフシールドスカルペル No.11

販売名：フェザーセーフシールドスカルペル
一般的名称：単回使用メス
認証番号：219AABZX00084000
製造販売業者：フェザー安全剃刀株式会社 美濃工場

ニプロ フローマックス S 24G 1インチ RBGA

販売名：フローマックス
一般的名称：単回使用皮下注射用針
認証番号：219AABZX00076A01
製造販売業者：ニプロ株式会社

ニプロ シリンジロック 3ML ハリナシ PP

販売名：ニプロシリンジ(針なし)
一般的名称：汎用注射筒
届出番号：27B1X00045000133
製造販売業者：ニプロ株式会社

販売名：Word バルトリン腺カテーテル・セット
一般的名称：バルトリン腺用カテーテル
承認番号：30800BZX00154000
クラス分類：管理医療機器(クラスII)

製品コード	BT-WBC-SET-JP5	製品名	Word バルトリン腺カテーテル・セット	最小販売単位	5 セット / 箱

- 本品は単回使用製品です。再使用しないでください
- ご使用の際は、電子添文をよくお読みの上、正しくお使いください
- セットに含まれる構成品は各々の電子添文をご覧ください

製造販売業者
Women's Health Japan
ウィメンズヘルス・ジャパン株式会社
〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-20-18 第8菊星タワービル2F
www.womenshealthjapan.com
【製品に関するお問合せTEL】03-6240-9611

外国製造業者
Bioteque Taiwan Ltd.（台湾）

WHJ-PC0028-WBC/2026.10(9K)B-N

Women's Health Japan

縫わずに開口部形成

Word バルトリン腺カテーテル セット

- カテーテルが開存性を維持し上皮化を実現
- バルーン固定で抜け落ち防止
- シリコーン製（ラテックスフリー）

Word バルトリン腺カテーテル

ニプロ フローマックス S 24G 1インチ RBGA

ニプロ シリンジロック 3ML ハリナシ PP

フェザー セーフシールドスカルペル No.11

挿入の準備

Step 1　カテーテル挿入の準備（切開）

1. Word バルトリン腺カテーテル・セットと必要な器具・器材等を事前に準備します
2. 患部を消毒し、局所麻酔を施したのち、付属のスカルペルを用いて嚢胞の外壁を切開して膿を排出します

※ 切開創の長さは 5mm 程度としてください
※ 切開の向きは処女膜輪と平行にしてください。また、留置後はストッパを腟に挿入するため、腟口に近い位置で切開してください

Step 2　バルーンの使用前検査

1. 付属の 3mL シリンジに滅菌生理食塩水または滅菌蒸留水を満たし、付属の注射針を接続します
2. Word バルトリン腺カテーテル（以下、カテーテル）をまっすぐに伸ばし、ストッパの凹部に注射針を刺入します（図 1）
3. シリンジ内の液体をバルーンに注入し、漏れや膨張不能がないか確認してください（図 2）
4. バルーン内の液体をすべてシリンジに吸引し、元の状態に戻します

※ 必ず滅菌生理食塩水または滅菌蒸留水を使用してください
※ バルーンの最大拡張量 3mL を超えないようにしてください
※ バルーンを拡張させる際、過度の圧力をかけないでください

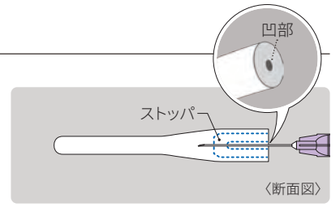


図1　まっすぐに伸ばすことで注射針の突き抜けを防ぎます

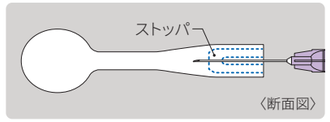


図2

挿入

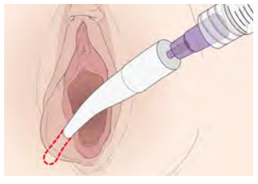
Step 3　カテーテル挿入・留置

1. 膿を排出した後、患部を滅菌生理食塩水で洗浄し、カテーテルのバルーン側を切開部からバルトリン腺に挿入します

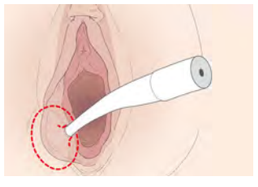
※ 切開創が長く、バルーンを拡張しても脱落する可能性がある場合は、切開創の一部を縫合してください

2. カテーテルをまっすぐに伸ばした状態を維持しながら、滅菌生理食塩水または滅菌蒸留水をカテーテルに注入し、バルーンを少しずつ拡張させます

※ バルトリン腺の腫脹に応じて、バルーンの拡張径を加減してください
※ 感染症などの症状以外の持続的な疼痛を訴える患者に対しては、注入量を最大の 3mL から 2.5-2.0mL へ減らし、患者の状態を確認しながら注入してください

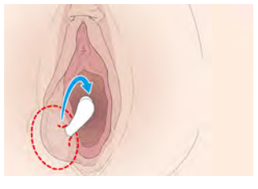


3. バルーンを拡張させた後、プランジャが戻らないように保持したまま、注射針をストッパから抜去し、バルーンをバルトリン腺内に留置します



4. カテーテルのストッパ側を腟内に押し込みます

※ カテーテル挿入後、患者を 1 時間程度観察し、出血等がないことを確認してください



留置期間

処置後 最大 28 日

切開部が上皮化するまで、カテーテルを留置します
※ 嚢胞切開部の上皮化時間には個人差があります。本品は 28 日を超えて留置しないでください

抜去

Step 1　カテーテル抜去の準備

1. 3mL 以上のシリンジと 24G 1インチの注射針等を準備してください

Step 2　カテーテル抜去

1. カテーテルをまっすぐに伸ばした状態で、カテーテルのストッパ凹部に注射針を刺入し、バルーン内に残っている液体を排出します
   - シリンジと注射針を用いない場合は、カテーテルの基部より 2cm の位置に切り込みを入れ、液体を排出してください
2. カテーテルをバルトリン腺から取り除きます

滅菌生理食塩水または滅菌蒸留水を排出してもカテーテルが抜去できない場合

- カテーテルをわずかに押し引きしながら軽く回旋させ、回旋抵抗が軽減・消失したら、カテーテルを抜去します
- 回旋操作で抜去できない場合は、局所麻酔を行い、小型の止血鉗子または鈍先の小外科剪刃を用いて、カテーテルと組織を鈍的に剥離します
- 鈍的剥離で抜去できない場合は、組織を切開し、鋭的剥離を行います
- 切開部が閉鎖して、カテーテルが迷入した場合は、鉗子または鑷子を用いてカテーテルを取り出します

※ バルトリン腺内にカテーテルまたはバルーンの残存物がないことを確認してください

患者説明 ～患者様へ以下をご説明ください～

日常生活の注意事項

- 本品挿入部位に影響を与える行為はひかえてください

正座や自転車乗車、激しい運動等（患部に荷重がかかる姿勢やカテーテルの脱落リスクとなる動作）
湯船につかること　月経期間中のタンポン使用　ビデ使用　性交渉

- 入浴についてはシャワーは可能です。湯船につかることは出血リスクが生じるため、避けてください
  入浴後はカテーテルおよび周辺部位をよく乾燥させてください
- 月経期間中のナプキンや尿漏れパッドの使用は可能です。定期的に交換し清潔を保ってください
- 治癒を促進し、感染リスクを軽減するため、飲酒や喫煙はひかえることを推奨します
- 石油系軟膏や潤滑剤（ワセリン等）は原材料のシリコーンを損傷させるおそれがあるため、使用しないでください
- カテーテルを自己抜去しないでください。定期的な受診のほか、必要に応じて、医師の診察を受けてください
- 留置期間中に意図せずカテーテルが抜けてしまったときは医師の診察を受けてください

注 意

- 滅菌包装に破損や開封跡がある場合は使用しないでください
- 使用前検査およびカテーテル挿入後、漏れ、膨張不能等の異常がある製品は使用しないでください
- 使用前検査後、バルーンに注入した液体が排出できない（バルーンが収縮しない）場合は使用しないでください
- 石油系軟膏や潤滑剤は原材料のシリコーンを損傷させるおそれがあるため、使用しないでください